

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公表番号】特表 2006-528069 (P2006-528069A)

【公表日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2006-049

【出願番号】特願 2006-532384 (P2006-532384)

【国際特許分類】

B 0 1 D 63/08 (2006.01)

B 0 1 D 69/10 (2006.01)

B 0 1 D 61/14 (2006.01)

B 0 1 D 53/22 (2006.01)

C 0 2 F 1/44 (2006.01)

C 0 2 F 3/10 (2006.01)

C 0 2 F 3/26 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 63/08

B 0 1 D 69/10

B 0 1 D 61/14

B 0 1 D 53/22

C 0 2 F 1/44 K

C 0 2 F 3/10 Z

C 0 2 F 3/26

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体へのガスの選択的転送のための膜構造体であって、

a) 支持シートの少なくとも一側面上に複数の支持体を有する多層流体不透過性シートであって、前記支持体が複数の不連続流路を形成しており、前記多層流体不透過性シートの少なくとも 1 層が結合層である、多層流体不透過性支持シートと、

b) 複数の前記不連続流路を被覆し、そして前記結合層によって複数の前記支持体に結合された、少なくとも 1 層のガス透過性層と、
を含み、前記結合層が、その結合層から外方に向く前記ガス透過性層の部分よりも低い軟化温度を有する、膜構造体。

【請求項 2】

前記多層流体不透過性支持シートが波形シートの形態にあり、そして波形の先端が前記支持体を形成する、請求項 1 に記載の膜構造体。

【請求項 3】

前記支持体が、前記多層流体不透過性支持シートの少なくとも一側面から延在するレールを含む、請求項 1 に記載の膜構造体。